

# 2017年度 事業計画書(抄)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

## 1. 顕彰事業

### ① 大川賞

情報・通信分野における研究、技術開発および事業において顕著な社会的貢献をされた方を表彰

- ・ 原則として国内1件、海外1件の合計2件程度
- ・ それぞれの受賞者に対し、賞状ならびに副賞として金メダル、賞金1,000万円を贈呈
- ・ 募集は候補者についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関及び、学会等に推薦を書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示を行う。また、審査委員が推薦する候補者についても、審査の対象に含める。

### ② 大川出版賞

情報・通信分野に関する優れた図書を表彰

- ・ 原則として2件程度
- ・ それぞれの著者に対し、賞状ならびに副賞として銀メダル、賞金100万円を贈呈  
また、出版社にも賞状ならびに賞牌を贈呈
- ・ 募集は候補図書についての推薦を公募するものとし、大学、研究機関及び、学会、出版社等に推薦を書面で依頼すると共に財団ホームページにも掲載し、インターネット上でも公示を行う。また、審査委員が推薦する候補図書についても、審査の対象に含める。

## 2. 研究助成事業

### ① 情報・通信に関する研究、調査等の助成

情報・通信分野に関する調査・研究に対する国際的な助成

- ・ 国内外の研究者に対し総計30～40件程度  
(国内20件程度、米国8件程度、中国・韓国7件程度)
- ・ 1件につき100万円(米国は1万ドル)を贈呈

### ② 情報・通信に関する研究、会議開催等に対する助成

情報・通信に関する学会、各種研究会や研究グループ等に対する助成

- ・ 上記について1～2件程度

### ③ 研究助成成果の公開

- (1) 研究助成による研究の成果については、研究成果報告書(フルペーパー)の提出を求めると共に研究者の同意を得て公開し、情報通信分野の研究者の便宜を図る。
- (2) また、研究成果の概要は、「民間助成研究成果概要データベース」に登録し、国立情報学研究所等により、インターネットを介して広く一般に公開する。
- (3) さらに、当財団において「研究助成成果概要集」として発行し、関係者に配布する。また、ホームページ上からも積極的に情報の公開を行う。

### 3. 贈呈式の開催

- ① 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式の開催
- ② 米国研究助成贈呈式の開催

### 4. その他の事業

- ① 財団事業に関する広報、出版物の刊行等

# 収支予算書（概要）

2017年4月1日から2018年3月31日まで

（単位：千円）

科目	予算額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	30,000
経常収益計	30,000
(2) 経常費用	
① 事業費	115,450
② 管理費	32,550
経常費用計	148,000
当期経常増減額	△ 118,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 特定資産受贈益	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 118,000
一般正味財産期首残高	528,000
一般正味財産期末残高	410,000
II 指定正味財産増減の部	
① 一般正味財産への振替額	0
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	4,500,000
指定正味財産期末残高	4,500,000
III 正味財産期末残高	4,910,000